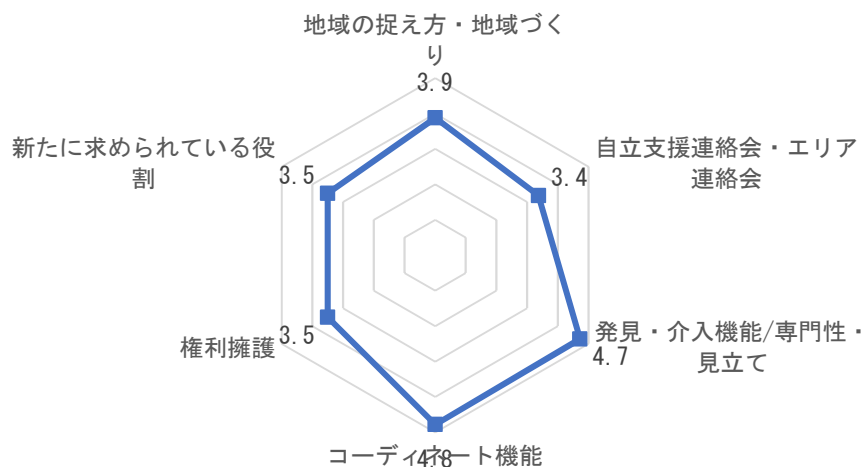


令和4年度委託相談評価 浜北・天竜センター

浜北・天竜センター 自己評価



【総評】

行政機関を含めた関係機関との連携に努め、日頃から相談し合える関係性が構築されている。個別ケースについては、家庭状況も含めたケースの全体像を捉えたコーディネートがされている点において関係機関からの良好な評価も多く、こうした1つ1つの取り組みが連携強化につながっているものと考えられる。特に民生委員との連携に関しては民生委員児童委員協議会における地区定例会への参加を積極的に実施し、個別ケースの相談件数も増加傾向にある。センターの機能として求められている「相談につながりにくい人のニーズを捉える」ための基盤づくりが進んでいると言える。

また、浜北・天竜センターの事務所は区役所と離れた場所に位置するが、行政機関とは十分に連携が取れている。そのため、場所は離れているが相談者への対応は十分な連携のもとにスムーズにできている。一方で天竜区に関しては遠方になったことに対して身近な場所への設置を期待する意見がある。事務所の場所だけでなく、担当圏域が限定されることで相談先としての機能が当事者・地域住民の安心感につながる効果が期待できるのではないかと。

事業所間のネットワーク構築に関してはコロナ禍にあっても浜松市障がい者自立支援協議会エリア連絡会（以下、エリア連絡会）の場を活用して顔の見える関係づくりに取り組み、参加機関からも良好な評価である。センターと関係機関との関係性構築に留まらず、事業所間のネットワーク構築の取り組みがされているため、今後の展望についても期待したい。

センター化した後に関係機関におけるセンターの認知度は高まっている一方で、エリア連絡会の周知は参加者に限定的となっている印象である。各団体を通じた周知や参加の機会など、当事者や地域住民を含めた多くの人への効果的な周知がエリア連絡会を通じたより良い地域づくりにつながると考えられる。また、エリア連絡会で取り扱う地域課題に関しては、エリア連絡会構成員と共通認識を図ることに課題意識を持っている。センターで捉えきれない当事者のニーズを把握できる計画相談事業所との共通認識を図ることで取り組みの基盤づくりにつながるのではないかと。エリア連絡会に限らず、機能強化事業の取り組みや相談支援専門員連絡会エリア分科会等の場・機会を活用し、計画相談事業所と協力して地域課題についての共通認識が図られることを期待したい。